

1.6 装置上の記号

注意：オペレーターは本機に貼っている安全に関する標示、危険シールに注意を払ってください。

危険：上肢を切断します（回転ツールにより）

1. 危険：上肢を切断します（回転ツールにより）
2. 危険：指が押しつぶされます
3. 危険：指が押しつぶされます
4. 危険：表面温度が高温です
5. 電圧による危険
6. 警告プレート
7. 安全手袋を使用
8. 保護メガネを使用
9. 耳栓を使用

1. リフトで持ち上げるためのフォーク挿入位置
2. 押え装置の調整
3. エッジ材の厚みの調整
4. 回転方向
5. トリミング・ユニットやスクレーパー・ユニットの調節部

1.8 ご使用前にお読みください

本機はメラミン、ABS、PVC、またはベニヤやムク板のエッジ材を、直線の出た合板、ムクパネル、MDF パネル、ハニカムボードの側面に自動的に縁貼りする為に設計、製造されています。

熱により溶解するタイプの接着剤（EVA）を使用して下さい。

上記製品を使用する前に、オペレーターはメーカー、サプライヤー、ディーラーから提供された安全データシートを熟読し、内容を理解しなければなりません。

お客様はメーカー、サプライヤー、ディーラーから、関係する特定の安全データシートを取り寄せなければなりません。また、本機のオペレーターまたはメンテナンス担当の方に正しく情報が伝わったかどうかを確認する為に、この本取扱説明書に安全データシートを添付しなければなりません。

1.9 使用できるツール

本機は、使用している材料に適した、EN847-1 Norm 準拠の刃物に合わせて設計されています。

1.10 作業環境

本機は以下の環境下で使用して下さい。

湿度(最高) : 90%

温度(最低) : +1°C、温度(最高) : +40°C

海拔(最高) : 1000m (より高い海拔で使用する場合は、製造メーカーに問合せください)

この環境状況は、使用される接着剤やエッジ材のタイプに依存します。

本機を使用するときは、常に集塵管を接続させて下さい。(4-5 参照)

本機は屋外で使用しないで下さい。

本機は産業用に設計されています。

本機は爆発物のある室内で操作しないで下さい。

1.11 禁止事項

以下のことは絶対に行わないで下さい。

- 本機を違う用途で使用することは禁止されています。
- 本機は、作業上予見できる適切な安全装置なしで運転しないでください。また、決して安全装置を取り外さないで下さい。
- 本書に記載されている寸法を超える材料や異なる素材を加工しないで下さい。
- EN847-1 Norm に準拠しない刃物、またはノコ軸の直径とサイズが合わない刃物は使用しないで下さい。
- 刃物のナイフはハイス刃を使用して下さい。
- 本機の改造は絶対に行わないで下さい。
- 本機の改造を行った場合、本機の規格との適合性は失われます。

本機を誤った方法で使用した場合、発生した損害については、ユーザ側が責任を負わなければなりません。

1.12 その他の危険事項

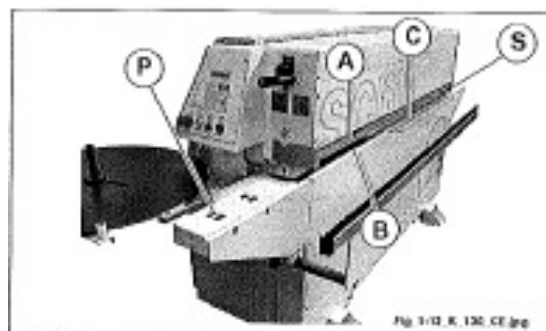
どのような機械においても潜在的な危険が潜んでいることを理解しておいて下さい。

最終的に、安全な機械の運転はお客様自身にかかっています。

本機は、安全な機械操作を確実にさせる為の安全装置が装備されています。

それらの安全装置は、適切に使用するのであれば効果的に機能します。

安全対策を守り、本書に記載されている指導の通りに本機を使用したとしても、以下のような危険が潜んでいます。



- ・パネル材の投入エリア (P 図 1.12 参照)
巻き込まれる、引っ張られる、押しつぶされるなど
- ・上部押え装置の内部：
上部押え装置 (図 1.12 の A 参照) と送材ベルト (図 1.12 の B 参照) の間に手があると、手を巻き込まれる、引っ張られる、ケガをする、切断する恐れがあります。
- ・パネル材の排出エリア (図 1.12 の S 参照)
パネル材と上部押えプレート (図 1.12 の A 参照) の間に手がある場合、または送材ベルト (B 図 1.12 参照) と上部押えプレートの間に手がある場合、手を巻き込まれる、引っ張られる、ケガをする、切断する恐れがあります。
- ・加工の間、発生する木屑の吸入。
- ・温められた接着剤から発生した有毒ガスの吸入。
- ・加工中に、端材や木屑が飛んでくる危険性があります。加工する素材が均一でない恐れがあります。
- ・鋭利な刃物を操作ユニットに取り付ける際のケガ。
- ・刃物や操作ユニットのモーターの接触による焦げ付き。

1.13 オペレーターのトレーニング

本機のオペレーターは、セットアップ方法、操縦方法のトレーニングを受ける義務があります。

オペレーターは本書を熟読し、安全に関する指導を完全に把握して下さい。

トレーニングの内容には、特に以下の項目が含まれなければなりません。

- a) 正しい使用方法と操作方法についての取扱い指導。
- b) 加工中の材料の取り扱いに関する取扱い指導。目視できる傷などが木にあった場合の識別方法や不良品として仕分ける方法の取扱い指導。(例えば、極端に曲がりすぎ、割れ、節、石や金属の混入など)
- c) 機械操作の前後・最中の、刃物を取り扱う時の正しい手の位置の取扱い指導。
- d) 機械操作の前後・最中の、オペレーターの適切な立ち位置や取るべき正しい姿勢に関する取扱い指導。
- e) 加工に最適な刃物の選び方に関する取扱い指導。

オペレーターは機械運転について考えられる危険、またはその予防装置についての取扱い指導を受けてください。その上で、オペレーターはカバー類や安全装置の定期的なチェックを実行することができます。

注意・情報

メインスイッチ、そして空圧回路のバルブスイッチをロックする為に、2つの鍵を用意することが必須条項となります。

配電盤のドアは1つまたは2つの鍵でロックされています。配電盤キーは本機の備品の中にあります。

通常操作時、またはメンテナンスを実施する時は常に、配電盤のドアを閉じていなければなりません。

専門オペレーターは、所有する配電盤キーを、責任を持って管理しなくてはなりません。